

津保城シンポジウム

～ 織田政権 北方の要を考える ～

関市富之保に「津保城」と記録に残る中世の山城があります。現在「大洞城」「一柳城」の名で知られるこの城は、津保川と武儀倉川に囲まれ、飛騨西街道と郡上八幡を結ぶ交通の結節点に立地します。信長の美濃平定後は一柳氏、稲葉氏が居城とし、一時は郡上八幡城の出城になっていたと伝わる津保城について、シンポジウムを開催します。

開催日

2024年5月12日（日）

会場

武儀生涯学習センター
（関市富之保2001-1）

参加費 無料

プログラム・参加方法

①午前9時～11時30分 山城登山ツアー 定員30人 <事前申込制>

関高校生の案内で津保城跡に登ります。

※険しい山道を登ります。軍手、飲物、虫よけ対策などご持参ください。

参加方法：4月8日(月)から電話（0575-45-0500）で申込受付します。（先着順）

☂雨天の場合は中止します。

②午後1時～4時 シンポジウム 定員100人 <当日受付>

津保城を中心に、中濃地域の山城や城下町についてお話しします。

参加方法：当日会場（多目的ホール）で受付します。

プログラム：

- 1.趣旨説明・津保城由来（関高校 林）
- 2.遺構からみた津保城（関市 森島）
- 3.津保城と織田政権（富加町 島田）
- 4.東美濃三ヶ城の調査（関高校地域研究部）
- 5.座談会

☂雨天の場合も開催します。



津保城跡に残る石垣

お問い合わせ先：関市文化財保護センター（関市協働推進部文化課）
岐阜県関市武芸川町八幡1446-1 関市武芸川事務所 2階
☎0575-45-0500（月～金・8:30～17:15）